

情報システム学会 10 周年記念 第 11 回全国大会・研究発表会
ワークショップ

ワークショップ 題目「要求分析の理論化はどのように可能か？」

主宰：超上流工程における要求分析への科学的アプローチ研究会

開催日時：大会二日目 11 月 22 日（日）14:00－15:30

開催場所：A 会場

<案内文>

情報システム開発において要求分析は情報システムの仕様を決めるクリティカルな工程ですが、分析者の経験と技芸を頼みとして理論恩恵に乏しいのが今も現状かもしれません。定番的な方法論や手法もありますが、工学的な意味での「理論」ではないかもしれません。もし理論恩恵に乏しいとすれば現状を打破したい。人間にとって価値あるシステムを構築しようとするれば人間的要素も解明対象となるので一筋縄ではないと思いますが、そろそろ「人間中心の情報システム」を志向する理論の獲得に向けて英知を集める模索をしたいと思います。

このワークショップでは、要求分析の理論化を考え直す機会を持ちたいと思います。パターン言語論やドメイン駆動論、概念フォーム論などは、要求分析の理論化への新たな機運の兆しではないか、そもそも「理論化」とは何か、要求分析の理論化の具体的な課題と展望はどのようなものか、などを大いに自由に議論していただく場とします。そのため複数の方に予め報告・説明・発題をお願いし、その後の議論につなげます。参加は自由です。